

早急な拡幅改良をお願いしたいが市長の所見を伺う。

答弁 肥薩おれんじ鉄道にこの踏切改良について委託方式でお願いしていくという方向性で今、協議を進めており、来年度から本格的に協議に入ってまいりたい。国道事務所もそういう考え方であり本市としても来年度以降につきましの財政計画等も十分考慮しながら、近い年度の中でこの問題が改良・改善できるようにしていく必要があると考えている。



網津踏切

原子力施設から出る放射性廃棄物と産業廃棄物処分場との関係について



佃 昌樹

質問 ①放射性廃棄物を産廃処分場に持ち込むのではという不安にどう応えるか。②処分場に持ち込ませないための対応策は。③大型の蒸気発生器、原子炉上ぶたの交換時に出る放射性廃棄物の具体的処理方法は。④川内原発でも同じ工事を行うが、その際出る廃棄物の処分の見通しはどうなっているのか。

答弁 ①法律に基づき産廃場に持ち込むことはない。②法律の改正により低レベル（〇・〇一ミリシーベルト以下）のものについては、持ち込みが可能になるとの懸念については、地元と県との環境保全協定の中でそういうものは一切入れられないという協定を結ぶことで対応できると考える。③倉庫の中にドラム缶で保管する。④今回の工事で搬入路の拡張をしなくても、上ぶたも蒸気発生器も入れられるため、コンクリートの廃材等は出ないので安心している。

認知症を地域で支えるための方策について



森水 靖子

質問 親子が共に高齢化していく現状にも関わらず、家庭介護を行っている人達も多い。認知症の人がいつまでも住みなれた地域で安心して暮らし続けるために認知症に対する正しい知識や対応等、研修活動を各自自治会単位で、開催するお考えはないか。

答弁 平成十九年度には、講演会、出前講座の実施と介護予防や認知症予防サポーターの養成、キャリアバンメートの育成など、平成二十年度には、介護予防事業の重点課題として認知症予防の取組を行い、各地域で認知症のサポーターによる予防講演会や個別相談会、認知症予防教室、また、市内十七カ所の在宅支援センターで認知症予防教室など開催しているところである。今後は、地域での見守り体制の構築、地域ネットワークの事業の検討をしていかなければならぬ。また、市民の皆様方の手をおかりしながら、サポートしていく必要がある。

大馬越地区市道栗下中山線の中山団地へ通じる道路整備について



種田 弘二郎

質問 この路線は栗下から中山団地に通じる道路であり、農畜産物の搬入路、産業道路、生活道路として大変重要な道路である。急カーブが多く見通しも悪く、また、道路側溝のフタが未設置であり、大型車通行時には、車両離合に支障をきたし危険な状況にある。地域住民や生産者に対して安心して安全な道路整備を図ることについて伺う。

答弁 昭和五十五年ごろ、第二次農業構造改善事業で改良した道路であり、当時はまだ一〇トン以上ある大型車両が走る大型生産団地になることは予想だになかったことと思われる。この道路の必要性は十分認識しており、また、来年十一月に全国のカンキツ研究会が鹿児島県で開催され、入来中山団地の視察も行われることから、早急に調査を行い、取得地権者の皆様方の御協力をいただいで、少しずつでも部分改良を行いたい。